

【事業概要】

項目	内容
事業会社	Al Dur Power and Water Company
所在地	バーレーン王国 アルドゥール地区 (首都マナーマ南約 40km)
事業方式	BOO (Build, Own and Operate) 方式
設備容量	総発電出力 123 万 kW (持分出力 24 万 kW)、 総造水能力 日量約 22 万トン (持分約 4 万トン)
電力・水販売先	バーレーン電力・水庁
燃料	天然ガス (バーレーン国営石油会社 [上流・ガス部門を管轄するタトウィール・ペトロリアム社]による供給)
出資者	株式会社キューデン・インターナショナル (19.8%)、 Kahrabel <sup>※1</sup> (45.05%)、GIC <sup>※2</sup> (25.25%)、SIO <sup>※3</sup> (9.9%)
商業運転開始	2012 年

※1 Kahrabel FZE : 仏大手電力・ガス事業者 Engie の持株会社

※2 Gulf Investment Corporation : 湾岸諸国政府系ファンド

※3 Social Insurance Organization : バーレーン王国の年金基金

【事業スキーム概要】

